

～ごみの分別にご協力を～



# かん・びんは、リサイクル資源です！

食べ物、飲み物のかん・びんは、不燃ごみではありません。限りある地球の資源ですので、必ず各資源物コンテナ（ごみ集積所の黄色いかご※）に入れてください。  
※一部の集積所では、オレンジ、水色、鉄のカゴを使用しています

## かん・びんの出し方

①中身を出し切り、水でよく洗います

②収集日にそれぞれの資源コンテナへ入れます



## 何がリサイクル資源？不燃ごみ？

食べ物や飲み物など口に入れるものが入っていたスチールやアルミ、またはガラス製の容器が対象です。

	リサイクル資源			不燃ごみ
<b>かん</b> 材質がスチール・アルミの記載があるもの	飲み物の缶 	缶詰めの缶 	粉ミルクの缶 	・スプレー缶 ・ガス缶 ・機械用油の缶 ・塗料の缶 ・一斗缶 など
	ボトル缶※1 	菓子箱(缶) 	食用油の缶 	
<b>びん</b>	飲み物のびん※2 	びん詰のびん 	調味料のびん 	・農薬のびん ・劇薬のびん ・塗料のびん ・花瓶 ・食器類 など
	食用油のびん 	飲み薬のびん 	化粧品のびん※3 	

- ※1 ボトル缶のキャップも「かん」のコンテナへ入れてください。
- ※2 一升瓶やビール瓶は、酒屋などで買い取りがある場合があります。
- ※3 中が洗えない化粧品のびんは不燃ごみへ入れてください。



問 生活環境課 ☎43-8289 FAX44-7833

# 認知症になっても安心して地域で暮らせるまちへ

認知症は誰もがなりうるものです。令和7(2025)年には65歳以上の高齢者の約5人に1人が認知症高齢者となることが予想されています。下妻市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域の見守り体制づくりに向けた取り組みを進めています。

## 認知症サポーターを知っていますか？

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かく見守る応援者のことです。

認知症サポーターになるには「認知症サポーター養成講座(90分程度)」を受講します。キャラバン・メイトと呼ばれる指定の研修を受けた講師が、認知症の症状や認知症の方と接するときの心がまえなど認知症の基礎知識をお話します。



認知症サポーター  
養成講座を受講したい！

所属する団体やグループ  
で開催したい！

認知症サポーターとして  
何か活動してみたい！

まずは **下妻市地域包括支援センター** にご連絡ください！

### 認知症カフェ 「オレンジカフェしもつま」

認知症本人、介護している家族、介護経験者、認知症に関心のある方が集まり、日頃の不安や心配なことを話し、共有し合う場です。砂沼荘と千代川公民館の2か所で開催しています。

- 砂沼荘  
毎月第1木曜日 午前10時～11時
- 千代川公民館  
毎月第3火曜日 午後1時30分～2時30分

※祝日や行事等により、日程変更する場合があります。初めて参加される方は下妻市地域包括支援センターへご連絡ください。

主催：認知症とともに学ぶ会しもつま

### 知ってあんしん 認知症ガイドブック

市では、認知症の本人やその家族の不安を少しでも軽減できるように、認知症の進行状況に応じて、どのようなサービスや支援を利用できるのかをとりまとめた「認知症ガイドブック(認知症ケアパス)」を作成しています。

介護保険課窓口で配布しています



問 下妻市地域包括支援センター(介護保険課内)

☎43-8264 FAX30-0011

月曜日～金曜日(土、日、祝日、年末年始を除く) 8時30分～17時15分

